

私の娘4歳になるのですが……超未熟児で産まりました。妊娠半年に入る頃体重670グラムで手のひら程の大きさで誕生しました。このまま生きていけるのかと本当に心配でした。3ヶ月の間保育器の中で娘は過ごしました。

2ヶ月経ったある日主治医に呼ばれました。主治医によると脳の小さな血管が切れてしまったとの事でした……。

左半身に麻痺が残るといわれ愕然としました。100%戻ることはないけど近いところまではリハビリで戻せるとの事でした。もともと医者にはまともに産まれて育つ可能性は10%もないと言われていたので妻と私は生きているだけでいいんだからと胸を撫で下ろしました。

そしてもうすぐ退院という時に医者から娘が未熟児網膜症にかかっているといわれ手術をしなければ失明すると告げられました。両目とも網膜症になっていたので計2回の手術を行う事となりました。

まずは右目から……右目の手術は進行が激しく失敗してしまい左目に全てを賭けました。私達家族は夢中で左目の手術が行われるその時まで神に祈りました。無我夢中で必死に神にそして奇跡が起こる事を夢中で祈りました。

と、その時です。私は一瞬にして眠りに落ちました。気がつく

とフワフワとした雲の上にもいるような一面真っ白な場所に私は立っていました。正面を向くとそこには堂々と神々しくそして眩しく菩薩様が立っていました。

菩薩の高さは顔まではっきり確認出来ないほど高くましてマジマジ見ることが出来ないくらい光を放っていたんです。

なんていうのか自分の中身頭のなか全てを見透かされてるような恥ずかしく自分の事がとても小さく思えたのです。

そしてソレは聞こえてきたのです。耳で聞いたというよりは私の魂に問いかけてきたっていうのが正解だと思います。

菩薩はこう言いました……難しい言葉でしたが意味は解りました。私の娘の名を仮にアイナとさせて頂きます。

菩薩『アイナは一生懸命生きようとしている……それなのに何故眼が見えて欲しいだのと己の欲ばかり押しつける？』

汝が願う事はアイナが願っている事なのか？ イヤ違うー！！

それは汝の見栄や欲ではないのか！？ 今眼の施術が成功したところで汝の願いは留まる事を知らぬー！！ 全てを受けとめよ……：全ては起こるべきして起こった事なのだ……受けとめよ。アイナは生きようとしている、見守るのだ。……』と言われすべて見透かされた私は自分を恥じたよ。

娘が眼が見えなくなって障害を持つことに激しく動揺しそして周りの眼を考えてた私は娘が必死に生きようとしている事を見ていなかったのだと激しく痛感した。ただただ自分の事を情けなく思えた。

深く反省しつつ菩薩の姿から眼を下ろしました。

眼を何げに先に向けると4、5歳ぐらいの女の子が鞠について遊んでいました。しかしその子は眼が見えないらしく上手く鞠をつけず何度も鞠を遠くに飛ばし一生懸命探してまた鞠をつき始めるのです……。その表情はとても楽しそうで幸せそうでした。そして私は目が覚めたのです。

この間ホンの2、3秒の話です。

今娘は4歳です。それでも周りの子と変わらず明るく歌が好きで笑顔の可愛いお転婆娘です!!

あの時見た鞠についていた女の子今4歳の娘そのものです。

泣ける2ちゃんねるⅢ コアマガジン 投稿者 氏名不詳